

# 欧州馬術レポート

週刊 Gallop 2020年11月号掲載



日本中央競馬会所属

## ◆佐々紫苑

(さっさ・しおん)  
1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全国日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全国日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。20年4月にJRA日本中央競馬会入会。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

## 馬心伝心 —奮闘記part II—

### 佐々紫苑

Shion Sassa



先日、世田谷の新装馬事公苑にて、馬術スペシャルアンバサダー・櫻坂46の菅井友香さん、日本馬術応援団の佐藤藍子さんと一緒に、「馬術応援団」として楽しいお話をさせていただきました (Gallop11月22日号にスペシャル座談会を掲載)。

私は馬術に携わる人に、馬術を始めたいきっかけを尋ねることがよくあります。私自身がそうだったように、馬という生き物と全く関係なかった人がど

んなきっかけで馬に興味を持ち、馬術を始めたいと思ったのか興味があるからです。

佐藤藍子さんは競馬から馬の魅力にとりつかれ、それがご縁で今のご主人と巡り合ったとのこと。菅井さんも私も佐藤さんの素敵な出会いに感激しました。競馬から馬術、馬術から競馬と、馬が繋げてくれるご縁も素敵ですよ。

2016年、改修前最後の馬事公苑で行われた全日本大会で優勝できたことは、私の一生の思い出です。そして、もうすぐ東京オリンピック・パラリンピックで世界最高レベルの人馬が競う、この馬事公苑。ここに立っていると世界の舞台がすぐ手の届くところにあるようで、改めて私も「その場所に立つんだ!」と強く心に誓った一日となりました。

馬事公苑はまだまだ改修中で自由に入場することはできませんが、親子連れでも楽しんでいただける素敵なスポットです。皆さんが馬術を始めるきっかけが、ここで見つかるかもしれません。



馬事公苑のメインアリーナ。ここに世界最高レベルの人馬が集います (©日本馬術連盟)

## Let's enjoy Dressage

### 高田茉莉亜

Maria Takada



アイリッシュアラン乗馬学校所属

## ◆高田茉莉亜

(たかだ・まりあ)  
1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権連覇。16年の全日本ヤングライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

今年も残りあと1カ月。本来であればクリスマスマーケットで街にぎわう時期ですが、新型コロナウイルスの影響で今年は開催されず、ドイツはとてもひっそりとしています。さすがに気温もグッと下がってきて、馬も冬支度をはじめました。とはいえ、人間のように衣替えをしたり、コタツを用意するわけではありません。毛を伸ばしてモコモコになるんです! モコモコな馬はテディベアのようにとってもかわいいんですが、スポーツホースとも呼ばれる馬術競技馬たちにとって長い毛は大敵。トレーニング後に汗がなかなか乾かず、冷えて体調を崩す可能性があるからです。

そこで、私たちは毎年「毛刈り」をしています。馬専用のバリカンで毛を刈り、毛の長さやその馬の特徴(暑がりなのか、寒がりなのかなど)、そして天候や気温に合わせて馬着を着せ替えることで馬の体調管理を徹底しています。馬着も薄手のものから、中に綿が入った厚手のものまでたくさん種類やデザインがあるので、つつい毎年買ってしまったり…。馬乗り女子あるあるです(笑)。



馬専用の大きなバリカンで全身の毛を刈ります。



おしゃれなデザインの馬着がたくさんあるので、選ぶのも楽しいです♪ (ともに本人提供)